市議会各会派の意見概要（2025.5/29～6/2）

- ・明石市の公共施設に関する資料（第1回・資料1～3、第2回・資料7）等を基に提出された主な意見の概要です。

分類	意見概要
1 計画の位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの財政白書 2024」の下位計画である印象を受けるので、並列表記に改めるべきではないか
2 計画改定	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は 2024 年度中に改定すべきだったのではないか
3 第1期検証	<p>(1) 延床面積の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期で延床面積が増えているが、パピオスあかしなど市民サービスの充実につながっており良かったのではないか ・第1期の途中で施設総量の削減目標の達成が困難なことを見通した時点で計画内容変更の検証を行うべきだったのではないか <p>(2) 施設運営費の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営費の見直しにより約 20 億の削減効果を生み出したのは評価できる ・市有施設包括管理はトータルで見ると地域経済にマイナスが生じる可能性もあるので、市内企業の活用や市民雇用などより一層の配慮が必要 <p>(3) 重点施設の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミセン利用者数の増減結果について検証が必要 ・市民会館について第2期に引き続き施設の長寿命化を図ることをもって評価を○とするのは甘いのではないか
4 基本的な取組方針	<p>(1) 6つの原則等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の公共施設全体に対する大きな方向性を示すべきでないか ・将来的なまちづくりの方向性を計画に反映すべきではないか ・縮減目標の達成が目的ではなく、住民サービス向上が目的であるべき ・人口増や子育て世代の流入を踏まえ、学校施設や子育て支援関連施設などは維持又は充実してほしい ・施設の更新時期が一挙に到来するため、基金とのバランスも考慮しながら検討すべき ・老朽化や利用者の低下により廃止の方向性を出すのではなく、市民サービスの観点からの検討に重点を置くべき ・施設の削減より新しい施設を建てない観点の方が重要ではないか ・施設の利用促進や多目的利用により集約化や複合化に努めてほしい ・公共施設における広域連携は今後重要なテーマであり、近隣自治体の首長同士が関係を保ちながら現場職員同士が話し合える機会を設けることが大事 ・民間委託を進めるとともに、施設や土地の売却等を進めてほしい ・施設の廃止後も市民の財産である土地は安易に売却せず、持続的に収益が上がるよう活用の検討を行ってほしい

	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設について、地震に備え、優先順位を付けて早急に更新改修に着手すべき、子どもや高齢者が日常的に利用する施設を最優先すべき ・今後の各施設の修繕計画も検討対象とすべき ・削減対象外の公共施設の今後の計画と方針を市民に公開すべきではないか ・コストがかかっていない施設を減らしても真の意味で適正化とは言わない <p>(2) 取組手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設配置適正化の取組の優先順位を示すべきではないか ・施設の更新や維持管理に要する費用を捻出する中では、丁寧に説明したうえで市民に利用料の一部を負担いただくような検討も必要 ・公共施設は民間で担うことができない役割を担っているので、廃止と合わせて代替手段の検討が必要 ・公共施設のユニバーサルデザイン化や脱炭素化の施策を明示してほしい ・オンラインでのサービス提供の強化により、施設の縮減や窓口業務の効率化が可能ではないか <p>(3) 進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画は5年や3年ごとに検証が必要 ・住民に正確な情報を提供し、住民参加の計画づくりが必要 ・施設の再編や統合は、市民への丁寧な説明と合意形成が不可欠であり、計画の策定・実施に当たり対話のプロセスを徹底すべき ・検討にあたっては若者や現役世代の声をよく聞くべきではないか <p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員は中長期的な視点を持ち、市民ファーストで検討を行ってほしい
5 施設総量の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コストの削減で設定すべきではないか ・施設の新設・建替を多く計画・検討している中で、慎重に設定すべき。 ・人口の連動よりも、市民に有効活用されているかの観点で検討すべきではないか ・現実的な数値目標を設定すべきであり、2%縮減としてはどうか ・第1期の目標が達成されていない中で、第2期は計画策定当初の目標設定を継続する必要があるのではないか ・施設総量の上限值を設定してほしい ・行政側から最適な公共施設の量やどの施設を減らしたら金額がどの程度浮くといったビジョンを示してほしい ・施設総量の縮減について具体的にどういった方策を想定しているのかもあわせて記載すべきではないか ・インフラについても数値目標を設定すべきではないか
6 重点施設の取組方針等	<p>(1) 市民センター</p> <p>【大久保市民センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建替にあたっては現在の土地を大久保小学校の児童クラブで使用するなど売却又は貸付と別の視点で検討が必要ではないか

	<p>【魚住市民センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの洋式化を推進してほしい <p>(2) サービスコーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近場で行政サービスを受けたい地域の高齢者のことを考えると残す方向で検討してほしい ・週1開所なら問題ないのではないか ・廃止・縮小を検討する際は、マイナンバーカードの普及とコンビニ交付の推進が必要 ・廃止方針は理解できるが、コミセンなど近隣で証明書等の発行ができる代替施設が見込まれる必要があるのではないか ・廃止に当たってはオンライン手続の拡充や、移動支援策の導入・拡充とセットで検討してほしい ・廃止を検討する際は利用されている地域の方々としっかり話をして、市民サービス第一で丁寧に検討してほしい <p>(3) 小中学校区コミュニティ・センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用目的があいまいになっていないか ・統廃合は極めて慎重に議論が必要 ・中学校コミセンの方向性をもっと明確に示すべきではないか <p>(4) 市民会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトな整備や建替等の検討を行うべきではないか ・長寿命化を図り、しっかりとした修繕が必要 ・稼働率を上げるために値下げなども検討してはどうか <p>(5) ふれあいの里</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代施設に転用されたため高齢者施設が少なくなっている ・第2期の重点施設に位置付けるべきではないか <p>(6) 厚生館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤字で利用者も減少しており、必要性を疑問視する声もあるが、第2期も長寿命化の方針で良いのか ・第2期の重点施設に位置付けるべきではないか <p>(7) 幼稚園・保育所・認定こども園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行しているが、プレハブ対応ではなく将来の少子化も見据えて統廃合等も含めた抜本的な議論が必要 ・公立保育所が学校施設長寿命化計画の対象から外れているが方向性を示す必要があるのではないか <p>(8) 小学校・中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数の変動や避難所としての機能を含む観点からの考察が必須 ・プレハブ校舎が多いが、子どもの教育環境確保の取組が必要 ・プールが学校施設長寿命化計画の対象から外れているが方向性を示す必要
--	---

	<p>があるのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいるが、計画的に補修を進めていくべきではないか ・統廃合は極めて慎重に議論が必要 <p>(9) あかし保健所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1階多目的ホールの使用目的を公衆衛生及び市民福祉の向上に限定せず、以前と同じくコンベンションセンターとして活用すべきではないか ・第2期の重点施設に位置付けるべきではないか <p>(10) 勤労福祉会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎から距離が近いことも加味し、転用やリニューアルを検討してはどうか ・会議室ニーズがあることも踏まえ、将来的な建替検討を行うべきではないか <p>(11) 卸売市場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早急に今後の方向性を検討して決定してほしい ・老朽化が進行しており、早急な安全対策が必要 <p>(12) 少年自然の家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊棟を解体し、新たな地域交流ができる多目的施設の整備が望ましい ・歴史的経緯なども踏まえ、民間提案制度を導入し、公的な役割を持つ施設として地域の意見もしっかり反映させながら活用検討を行ってほしい ・建替や改修工事など、有効活用を検討すべきではないか ・市がランドデザインを持たずに場当たりの対応をしながら地域と協議を行っていることが停滞の要因ではないか <p>(13) 市営住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約化を図り、他自治体の事例も参考に多目的への転用や民間活力の活用を積極的に検討すべきではないか ・ユニバーサルデザイン化を推進してほしい <p>(14) あかし斎場旅立ちの丘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者に裁量権を渡すことで、指定管理料が下がるのではないかと。 ・民営化すると料金が上がるのではないかと <p>(15) 明石駅前立体駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間への売却を検討してはどうか ・利用料収入が見込まれることなどから市で引き続き保有し大規模修繕を行うべき ・インターフォンを使用した障害者割引対応を見直してほしい <p>(16) 放課後児童クラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢制限を設けることや、児童館の設置も含め外部委託する検討も必要 ・放課後の子どもの居場所確保を他の公共施設の転用により対応できないか <p>(17) 木の根学園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じた構造化が必要
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって、現在の敷地内に新たな施設を作る方が安全・安心 ・民営化も含めた検討を行うにあたっては、利用者のご家族や職員の意見を聞きながら検討を進めてほしい <p>(18) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石ヶ谷墓園を第2期の重点施設に追加し、方針案を「指定管理者制度の導入など、より効率的な管理運営方法について検討し、同墓園のあり方を決定する」としてはどうか ・各施設のコスト情報について、目標を検討し逆算で取組内容を検討すべき
7 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などが一部団体のみに使用されている場合があり、利用時間に応じた料金や利用時間の平準化など受益者負担適正化の議論が必要ではないか ・新庁舎や icotto など公共施設に聴覚障害者が視覚的に情報取得できる設備を置いてほしい ・窓口や学校等におけるコミュニケーションボードなど合理的配慮のツールを設置してほしい